

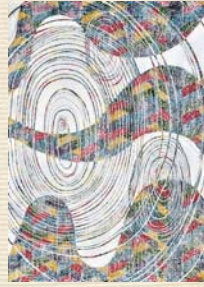
今月の題字



くまの

熊野高校3年 藤井 萌 さん

熊野高校3年 金谷 巴花 さん



【評】「編む」という手作業を元に発想した装飾的な文様を、スクラッチという技法を使って多層的に表現している。豊かな曲線が手作業による温かみを感じさせる作品。令和3年度広島県高等学校総合文化祭ポスターコンクール奨励賞。

熊野高校3年 渡辺 優華 さん



【評】淡墨で書き上げました。淡く、温かい雰囲気は墨色で表すと共に、ダンス教室で自らが体験している、「凛」とした姿勢やポーズを連想させる文字表現になっています。

熊野の自然 (385)

サナギタケ (バツカクキン科)



蛾などの蛹に寄生するキノコなので、サナギタケと言います。萩原の道上奥で昨年9月28日に撮りました。夏、秋、林地地上に発生します。棍棒形、円筒形で、長さ1〜7cm。1個の蛹から数本か1本発生します。頭部はオレンジ色で、表面は微小な粒状突起で覆われています。これは、頭部の表層に半埋没した子嚢殻の孔口で、成熟するとここから一斉に胞子を放出します。柄は淡色で直径は数mm。地表近くの大型の蛹に寄生します。スズメガ科の殆どは、成熟した終齢幼虫が食草や食樹を離れ、地表や浅い地中で蛹になり越冬します。サナギタケは、そういう生態の蛹に寄生します。

冬は虫で夏は草になるとの意味で「冬虫夏草」と呼ばれる子嚢菌類の仲間です。

麦角菌科の冬虫夏草属は、胞子が虫に付くと、やがて虫の体内で菌子が充満して塊状となり、硬い菌核をつくります。休眠期を経て、地上にキノコを発生します。

やや深い所のセミの幼虫に寄生する種などは、地上に出るため長い柄があります。昆虫などに寄生するので虫生菌とも呼ばれます。虫生菌は、昆虫の体内で他の細菌と対抗するため抗生物質を生産します。制ガン性の研究に加え、新しい抗生物質として、必ず人類の役に立つと期待されています。

【写真・文】

緑花文化士 富沢由美子

筆の駅ミニギャラリー

●北島弘隆・平井弘光

二人展 (油絵)

時10月7日(木)〜16日(土)

呉市苗代在住の北島弘隆さんと、広島市矢野在住の平井弘光さんの油絵二人展。併わせて寺本清子さんのかんざし細工なども一緒に展示します。



せせらぎ風景 (作:北島)

熊野町観光案内所「筆の駅」

熊野町出来庭10・6・24

☎855・1123 (いいふみ)

開10時〜16時

(各展示の最終日は15時閉場)

休水曜日・第3日曜日

※無料

※ギャラリーのご利用については、お問い合わせください。

切り取って、電話機などに貼ってお使い下さい。

熊野町公式アカウント

facebook

LINE

子育支援情報アカウントこぶでりん

熊野町観光大使こぶでりん 公式アカウント

facebook

防災無線放送再生ダイヤル 082-820-5640 (放送終了後24時間自動消法)